

令和5年度 第2回教育課程編成委員会資料

資料第1号

学校名:大阪府柔道整復師会医療スポーツ専門学校

企業委員様からの提案・ご意見まとめ

① 教育の具体的な目標 :「思考・判断・表現が発揮される主体的・協働的な問題発見・解決の場面経験」

- 1.アクティブ・ラーニングを1年生の早期から取り入れ思考力・判断力・表現力を育成。
- 2.課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びから論理的に考える思考を育成。
- 3.何が問題でそれをどのように解決するのが望ましいかを見通せる立案力と問題発見能力育成。
- 4.グループ研究過程を通じて必要に応じ他学年の学生や同級生と協調作業ができる能力育成。
- 5.研究過程を通じて計画を立て予定にあわせタスクを進められるスケジュール管理能力育成。
- 6.プレゼンテーション能力と得られたデータから仮説が正しいかどうか判断する仮説検定能力育成。

② 令和4年度教育で取り組んだ内容

【医療分野】

- ・早期臨床実習体験[1年]
- ・介護現場実習[2年]2月実施予定
- ・附属接骨院臨床実習[3年]
- ・総合病院 病院見学実習[4年]2月実施予定

【育成分野】

- ・グループワーク[1.2.3.4年]・グループ研究[3年]
- ・臨床心理学[2年]
- ・大阪府地域保険課精神グループ「こころのホットライン」
- ・卒業生から話を聞こう[2年]
- ・消費者センターから学ぶクレジットに関する啓発授業[2年]
- ・税理士の先生から学ぶ租税講習・大阪府労働センターから学ぶビジネスマナー講習[2年]
- ・弁護士の先生から学ぶ労働法[4年]

【職業倫理分野】

- ・柔道整復師の職業倫理[1.4年]
- ・柔道整復師とは[2年]
- ・正しい保険の取扱い方[3年]
- ・業界説明会[4年]2月開催予定

【卒業論文研究】

・卒業論文の達成レベルが高いほど「身につく知識・能力(社会人基礎力)」が高くなるエビデンスは既に教育分野では提示されています。(参照:東京薬科大学卒業生調査(2017))

③ 現在の問題・課題など

1.考えることをしてきていない。

- ①素直であるがゆえに洗脳されやすい。
- ②与えられすぎて受身でしかない。
- ③指示待ちが当たり前になっている。
- ④狭い情報の中で偏っている。

2.疑問を持つという概念がない。

- ①情報を与えられ過ぎ欲求がない。
- ②情報の真意を判断する力がない。
- ③騙されていても危機意識がない。

3.親への依存性が高く将来目標がない。

- ①親と仲良く身近な幸せが大切と将来を見ていない。
- ②同調圧から空気を読みすぎ、自分で決めるのが苦手。
- ③人づきあいが苦手で悲観的でミニマリスト。
- ④SNSの影響で他人の目を気にし目立ちを嫌う。

4.基礎学力が身に付いていない。

- ①国語力がなく本を読んでも理解できない。
- ②中学生レベルの基礎が出来ていない。
- ③初等教育で身に付ける学力がなく継続できない。

④ 企業委員様からの具体的提案やご意見 (会議にてお伺いしたいと考えております。)

・中途退学者について大学4年間では約7%(2022年)であり、主な理由は経済的困窮と学生生活不適應、修学意欲低下であった。上記課題として記載されている基礎学力の低下も中退の大きな理由と考えられるが、対策として学力だけでなく生活面の指導もできるカウンセリングマインドを職員が持つ必要がある。・社会に出てからまず組織に入るが、人間関係やコミュニケーションに関するプログラムは行っているか?業界の衛生材料を扱っているが、外傷施術に関する売上が減少し外傷にこだわらない方向に転換されているように思う。外傷施術に対応可能な教育を行って欲しい。・最近の若者(PHS)に対して書かれていた記事を添付させて頂く。こちらを参考に教育指導を頑張ってください。・柔道整復師としてのみならず社会人としてのコミュニケーション能力が必要であり、専門知識の必要性も重要であるが、人間力が最も重要ではないかと思えます。貴校での取り組みを学生の皆さんが素直に受け入れ学んで頂ければと思います。